



ブックマ

『葉っぱのフレディ～いのちの旅～』

レオ・バスカーリア 著 1998年初版 童話屋 貸し出し可(Eの書棚)

フレディは、大きな木についている1枚の葉っぱです。木にしげるたくさんの葉っぱと
いっしょに、秋をむかえます。

紅葉した葉っぱの友達は、次々と枝から離れていきます。親友のダニエルは、それを
「死」と教えてくれます。そして、だれでも「いつかは死ぬさ。でもいのちは永遠に生き
ているのだよ」と教えてくれます。

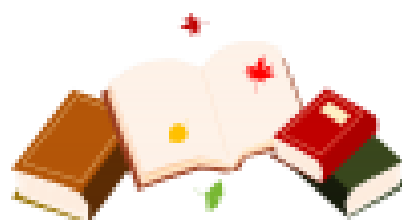
春に生まれて冬に死んでしまうフレディの一生にはどういう意味があるというのでし
ょう…？フレディは、「ぼくは生まれてきてよかったのだろうか」となやみます。

すべての生きものには、生まれてきた意味があり、その命を全うすることの大切さ、
すばらしさについて考えさせられる絵本です。

作者からのメッセージ(抜粋)

「この絵本を死別の悲しみに直面した子どもたちと死についての的確な説明ができない

大人たち、死と無縁のように青春を謳歌している若者たち…へ贈ります」



読み聞かせなら、
1年生から

自分で読むなら、
3年生くらいから